

データビジネスと哲学・倫理学をつなぐ ELSI領域における産学共創の実践から

2024年12月12日

朱 喜哲
(電通 / 大阪大学)

ちゅ ひちよる
朱 喜哲

- 電通 第6 マーケティング局 チーフ・リサーチ・ディレクター
- 大阪大学 社会技術共創研究センター（ELSIセンター） 招へい准教授
- 博士（文学）

2011年に電通入社後、ダイレクトマーケティングとデータアナリティクスを起点に、**位置情報データ、購買データ等の多彩なデータを活用したビジネスの開発・運用・コンサルティング**に従事。
データのELSI（倫理的・法的・社会的課題）の専門家として、近年の法改正（個人情報法・電通法）への対応を含むデータガバナンス、プライバシーテック領域についても多岐にわたる活動をしている。



・講演・メディア露出：

- ・アドテック京都2017／2018「パーソナルデータマイニング&位置情報データ」モデレーター
- ・『MarkeZine』「人の行動をデジタルデータに変える」
- ・位置情報・ビッグデータカンファレンス2018, 東京国際フォーラム, 2018年9月14日
- ・月刊『販促会議』連載「しごとの哲学, 哲学のしごと」（2019年1月号～）
- ・NHK Eテレ『ニッポンのジレンマ』出演（2019年1月1日OA回, 3月31日OA回）
- ・MyData Japan2023 カンファレンス「プライバシーガバナンス」スピーカー
- ・MyData Japan2024 カンファレンス「データ倫理」モデレーター

・公刊物：

- ・『在野研究ビギナーズ』（明石書店, 2019年）
- ・『すごい哲学』（法令出版, 2022年）
- ・『ネガティブ・ケイパビリティで生きる』（さくら舎, 2023年）
- ・『〈公正〉を乗り越なす』（太郎次郎社エディタス, 2023年）
- ・『100分de名著 ローティ『偶然性・アイロニー・連帯』』（NHK出版, 2024年）
- ・『人類の会話のための哲学』（よはく舎, 2024年）
- ・『ELSI入門（仮）』（日本実業出版, 2024年予定） etc.



アカデミアとビジネスの「協働／協業」は、目下取り組んでいる仕事の柱（のひとつ）。

Press Release



国立大学法人 大阪大学
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1
TEL: 06-6877-5111 (内)
www.osaka-u.ac.jp

2019年9月2日

分野: 学際領域 キーワード: データ駆動型ビジネス、倫理的・法的・社会的課題(ELSI)、ルール整備、Society 5.0

大阪大学と電通、「行動データ駆動型ビジネスの ELSI 領域」

におけるルール整備に向け産学共創プロジェクトを開始

✧ 概要

国立大学法人大阪大学（本部：大阪府吹田市、総長：西尾 章治郎）と株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、近年急速に進むサイバー空間上の各種データを活用するビジネスをめぐって生じる新たな倫理的・法的・社会的課題（Ethical, Legal and Social Issues；以下 ELSI）領域での課題解決に向け、ルール整備等について検討する、産学共創プロジェクトを開始します。

今後データビジネスが健全に成長するためには、産業界におけるデータ流通に関して、市民社会の理解を得るための適切なルール整備が不可欠であるとの課題感から、産学共創によって公共性を担保された形で整備を進めることを目指します。

✧ 研究の背景

大阪大学は、2016年にビッグデータの利活用促進を目指してデータリテラシティ機構を設置し、2018年に文部科学省から国内唯一の「Society 5.0 実現化研究拠点支援事業」として採択されるなど、技術シーズの研究開発のみならず、その市民社会における課題や展望についても取り組んでいる本領域におけるトップランクの研究機関です。ビジネスでのデータ利活用が加速する中、産業界におけるデータ流通の実際やニーズ、課題感を把握し、新たな研究テーマを得ることを目指します。

dentsu

NEWS RELEASE

株式会社 電通
広報局 広報部
105-7001 東京都港区東新橋 1-8-1
Tel 03-6216-8041
<http://www.dentsu.co.jp/>

2019年9月2日

電通と大阪大学、「行動データ駆動型ビジネスの ELSI 領域」における ルール整備に向け産学共創プロジェクトを開始

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）と国立大学法人大阪大学（本部：大阪府吹田市、総長：西尾 章治郎）は、近年急速に進むサイバー空間上の各種データを活用するビジネスをめぐって生じる新たな倫理的・法的・社会的課題（Ethical, Legal and Social Issues；以下 ELSI）領域での課題解決に向け、ルール整備等について検討する、産学共創プロジェクトを開始します。

今後データビジネスが健全に成長するためには、産業界におけるデータ流通に関して、市民社会の理解を得るための適切なルール整備が不可欠であるとの課題感から、産学共創によって公共性を担保された形で整備を進めることを目指します。

アカデミアとビジネスの「協働／協業」は、目下取り組んでいる仕事の柱。

電 通 報

2020/02/07

ELSI対応なくして、データビジネスなし?! 話題のELSIとは

あらゆるビジネスがデータ駆動型になっていく中、今までは考えられなかったさまざまな課題がビジネスシーンで生じつつある。そのような状況下で、注目を集めているのが「ELSI（エルシー）」というワードだ。ビジネスを進めていく上で、あらゆるリスクとどう向き合い、いかにそれをチャンスに転換していくべきなのか。

リスク研究を専門とされる大阪大の岸本充生教授に話を聞いた。聞き手は、同教授と共に産学共創の「データビジネスELSI研究会」を立ち上げた電通のソリューション・デザイン局 主任研究員の朱喜哲氏。



左から電通・朱氏、大阪大・岸本教授

ELSI解説記事：<https://dentsu-ho.com/articles/7123>



ELSIの分類

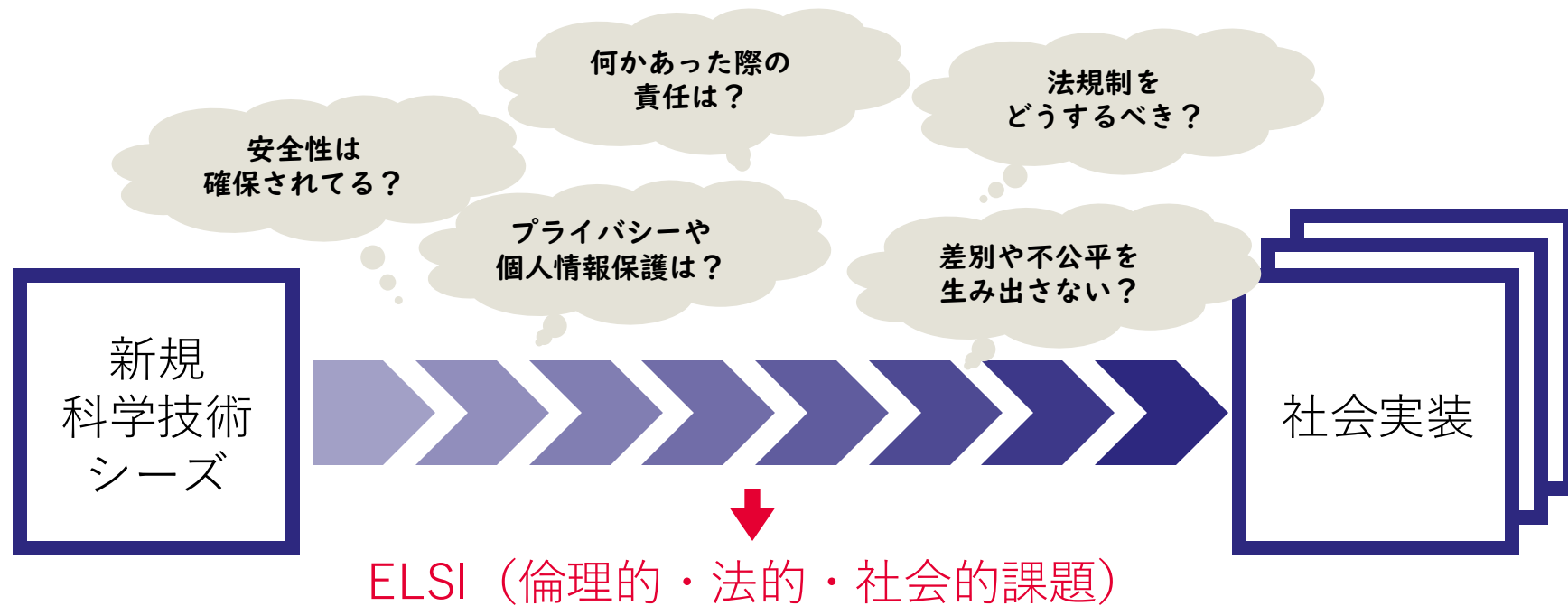
	Ethical 倫理的	Legal 法的	Social Issues 社会的課題
標準	正義や公平性といった理念	施行された法	社会的話題・世論
変化しやすさ	原則として変化しない	技術などの後追いで都度変化	変化しやすい

朱主任研究員は今後データビジネスを展開するうえでは「ELSI（エルシー）が重要だ」と強調する。ELSIとは倫理的（Ethical）・法的（Legal）・社会的課題（Social issues）を意味する。法律だけでなく倫理と社会の反応にも着目したうえで技術の発展などを旨とする概念だ。

ELSI : Ethical, Legal, and Social Issues

倫理的・法的・社会的課題

- 新しい科学技術を研究開発し、社会実装する際に生じうる、技術的課題を超えた課題。

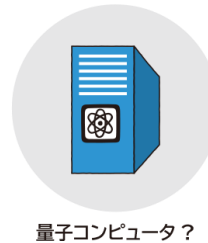
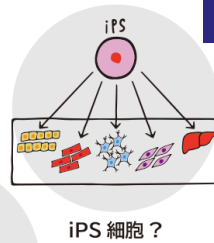
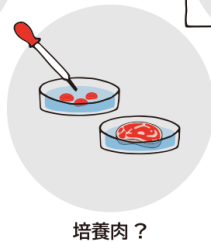


ELSI : Ethical, Legal, and Social Issues

倫理的・法的・社会的課題

- 新しい科学技術を研究開発し、社会実装する際に生じうる、技術的課題を超えた課題。
 - 「新しい科学技術」は、いつの時代も新しい課題をともなっている。

新規
科学技術
シーズ



センターでは、データビジネスのルール整備について、以下のような産学共創研究を推進。

2020-22年：リクルート「プライバシーセンター」設置に関わるレビュー（リクナビ事件後のID統合）



プライバシーポリシー改定と
プライバシーセンター公開のお知らせ

2. 専門家・有識者によるレビューの実施(2020年12月～)

新規科学技術を社会実装する際に生じうる、倫理的・法的・社会的課題について、国内で先進的な研究を行う、大阪大学 社会技術共創研究センター(ELSIセンター)が中心となって運営するデータビジネスELSI研究会において、プライバシーセンター(本ページ)のあり方について、計4回にわたり協議し、レビューを受けました。

※ ELSI(エルシー)とは、倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal and Social Issues)の頭文字をとったものです。新規科学技術を研究開発し、社会実装する際に生じうる、技術的課題以外のあらゆる課題を含みます。(大阪大学 社会技術共創研究センターウェブサイトより抜粋)

▶ [大阪大学 社会技術共創研究センター\(ELSIセンター\)](https://www.recruit.co.jp/privacy/notice/210201_pppc.html)

出典: https://www.recruit.co.jp/privacy/notice/210201_pppc.html



リクルートは
あなたのプライバシーを尊重します。

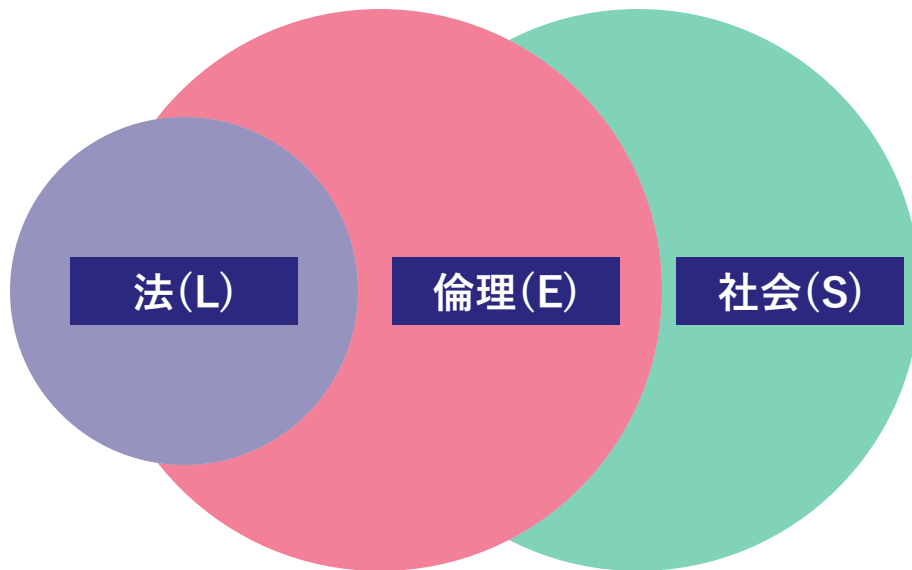
本ページでは、リクルートがユーザーの個人情報を含むパーソナルデータを取得・活用するにあたって、プライバシー保護の考え方や取り組みを、イラストや具体例を交えながら紹介しています。

※プライバシーセンターは、株式会社リクルートとその子会社のうち、日本国内で展開するユーザーの情報を取得するサービスを対象としています。対象となるサービスの一覧は[こちら](#)をご参照ください。

ELSI : Ethical, Legal, and Social Issues

倫理的・法的・社会的課題

- 新しい科学技術を研究開発し、社会実装する際に生じる、技術的課題を超えた課題。
- こうした課題を「E(倫理)」「L(法)」「S(社会)」に分けて議論する必要がある。



法(L)

倫理(E)・社会(S)からの不断の見直しを受ける。
新規技術に対しては、後追いにならざるをえない。

倫理(E)

社会において人々が依拠すべき規範・普遍的な理念。
少なくとも短期的には安定しており、法(L)の基盤となる。

社会(S)

「世論」や「炎上」として可視化される。
不安定で、ビジネスにとって予見困難なリスクともなる。

ELSIの「E」は、「事故」の事態にこそ問われる

記憶に新しい、都知事選のポスター掲示板。
「違法ではない（「L」レベルでは問題ない）…」が、世論（「S」レベル）として「モヤモヤ」。

そして、それは「人それぞれの感じ方の問題（相対的）」ではなく、
もっと根本的な（＝倫理「E」レベルの）おかしさあり、
場合によっては対策するための立法がおこなわれるべきではないか…と感じられたのではないか。



写真出典: <https://diamond.jp/articles/-/346560>

データビジネスの最前線では「E対応」がすでに産業化

IAPP GLOBAL PRIVACY SUMMIT 2022

(2022/04/12-13, Washington D.C.)

Tim Cook(Apple CEO)のスピーチ概要

プラットフォームはルールメーカーであると明確に位置づけ、データ倫理をApple社の競争力として打ち出す。



出典:<https://iapp.org/news/video/keynote-tim-cook-apple-ceo-iapp-global-privacy-summit-2022/>



出典:<https://www.itmedia.co.jp/pcuser/articles/2204/13/news061.html>

「プライバシーのない世界は、想像力、共感力、革新性、そして人間性に欠けます。Apple[...]は、プライバシーは基本的人権だと考えているのです」

「私たちは長い間、セキュリティはプライバシーの基盤であると述べてきました。[...]私たちが直面している危険は、単に私たちのデータを危険にさらすだけではありません。人間であるための自由までが損なわれるのです。このような攻撃の脅威からユーザーを守るべく、私たちは真剣に取り組んでいるのです」

「テクノロジーが私たちの世界を形成し続けることは明らかです。テクノロジーを生み出し、それを支配するルールを作る私たちは、サービスを提供する人々に対して大きな責任を負っています」

出典:<https://iapp.org/news/video/keynote-tim-cook-apple-ceo-iapp-global-privacy-summit-2022/>

データビジネスの最前線では「E対応」がすでに産業化

IAPP GLOBAL PRIVACY SUMMIT 2022 (2022/04/12-13, Washington D.C.)

Lina Khan氏(FTC議長)のスピーチ概要

現状のプライバシーポリシーや同意取得の手法が時代遅れであり、新たなデータ倫理産業の必要性を強調。



出典: <https://www.youtube.com/watch?v=DpMrfsTDmP8>

「今日のデータプライバシーへの対応として求められることが“大幅に”変化している。現状のプライバシーポリシーやオプトイン・オプトアウトの二元論での通知・同意の取得(形式的な同意)は、時代遅れで不十分である」

「データプライバシーとセキュリティの保護について、形式的な保護ではなく、実質的な制限を考慮しながら対応していくべきだと考えています。」

出典: <https://iapp.org/news/a/ftc-chair-touts-interdisciplinary-approach-to-data-privacy-security/>



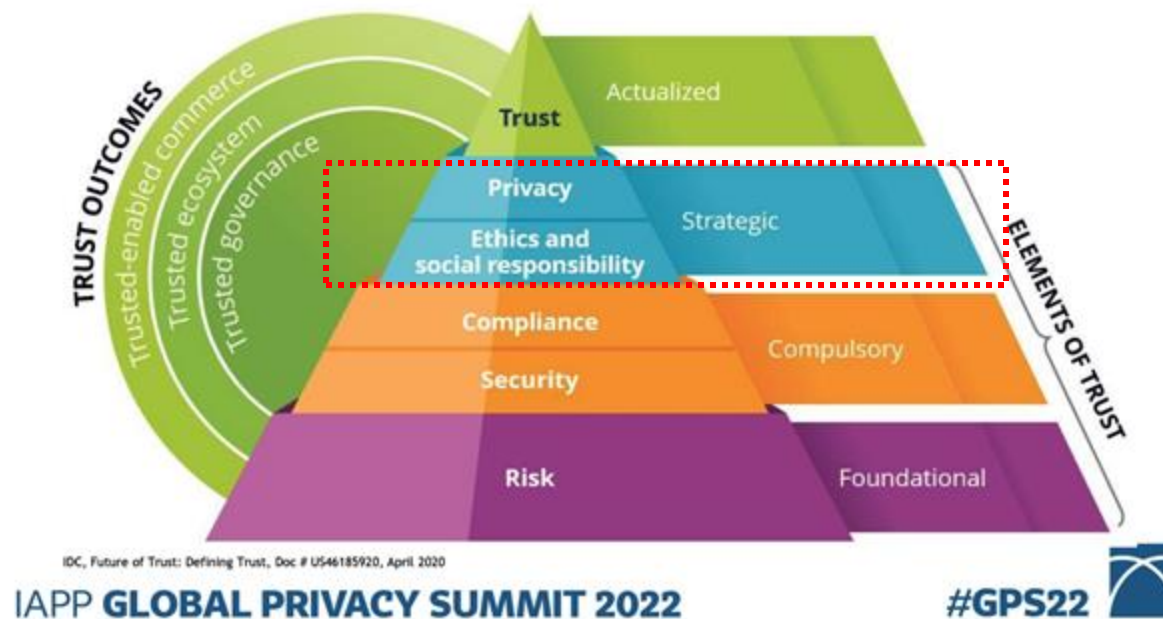
出典: https://media.iapp.org/2022/04/12131806/Khan_Lina_GPS22_FA2_0011.jpg

データビジネスの最前線では「E対応」がすでに産業化

IAPP GLOBAL PRIVACY SUMMIT 2022 (2022/04/12-13, Washington D.C.)

Session: “Building Trust ”より

これからのデータビジネスは「信頼」の実現が最上位目的であり、法令遵守(L対応)は当然の義務として、差別化戦略の要素として「プライバシーおよび倫理・社会的責任」が強調。



ビジネスにおいて、とりわけE(thical)への関心が

〔…〕「求められる倫理観」（日経新聞 2019/12/8付）

日本経済新聞

朝刊・夕刊 ストーリー

トップ 速報 経済・金融 政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際 オピニオン スポーツ 社会・暮らし

有料会員限定 記事 今月の閲覧本数：10 本中 2 本

リクナビ

コラム (テクノロジー)

2019/12/8 2:00

「倫理観」とは？ どうすれば養成できる？

「最新の法制度を理解するのは当然だが、それ以上に、我々の倫理観が問われるケースがある。〔…〕データサイエンティストは高い倫理観と十分な知識を持って、データ活用に携わる必要があるだろう」



草野隆史データサイエンティスト協会代表理事 1997年、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。サン・マイクロシステムズなどを経て、2004年3月ブレインパッドを設立、社長に就任。11年9月東証マザーズ上場。13年、東京証券取引所市場第一部に市場変更。15年9月会長に就任。19年7月より社長。データサイエンティスト協会代表理事の他、日本ディープラーニング協会理事も務める

一般生活者およびデータビジネス従事者を対象とした ELSIに関わる意識を調べる調査を2021年末・2023年末に実施

調査目的

一般生活者のデータに関する用語理解・データビジネスへの興味関心を確認する。
データビジネス従事者の意識やデータビジネスに関する理解を確認する。
一部データを国際比較し、日本の現状を把握することを目的とする。

調査対象者 サンプル数

【スクリーニング】

- ・全国
- ・20代～60代男女 20,000ss

【本調査】

- ・データビジネスに関わる方 1,000ss

質問数

【スクリーニング】 7問(2021年)／10問(2023年)

【本調査】10問

調査期間

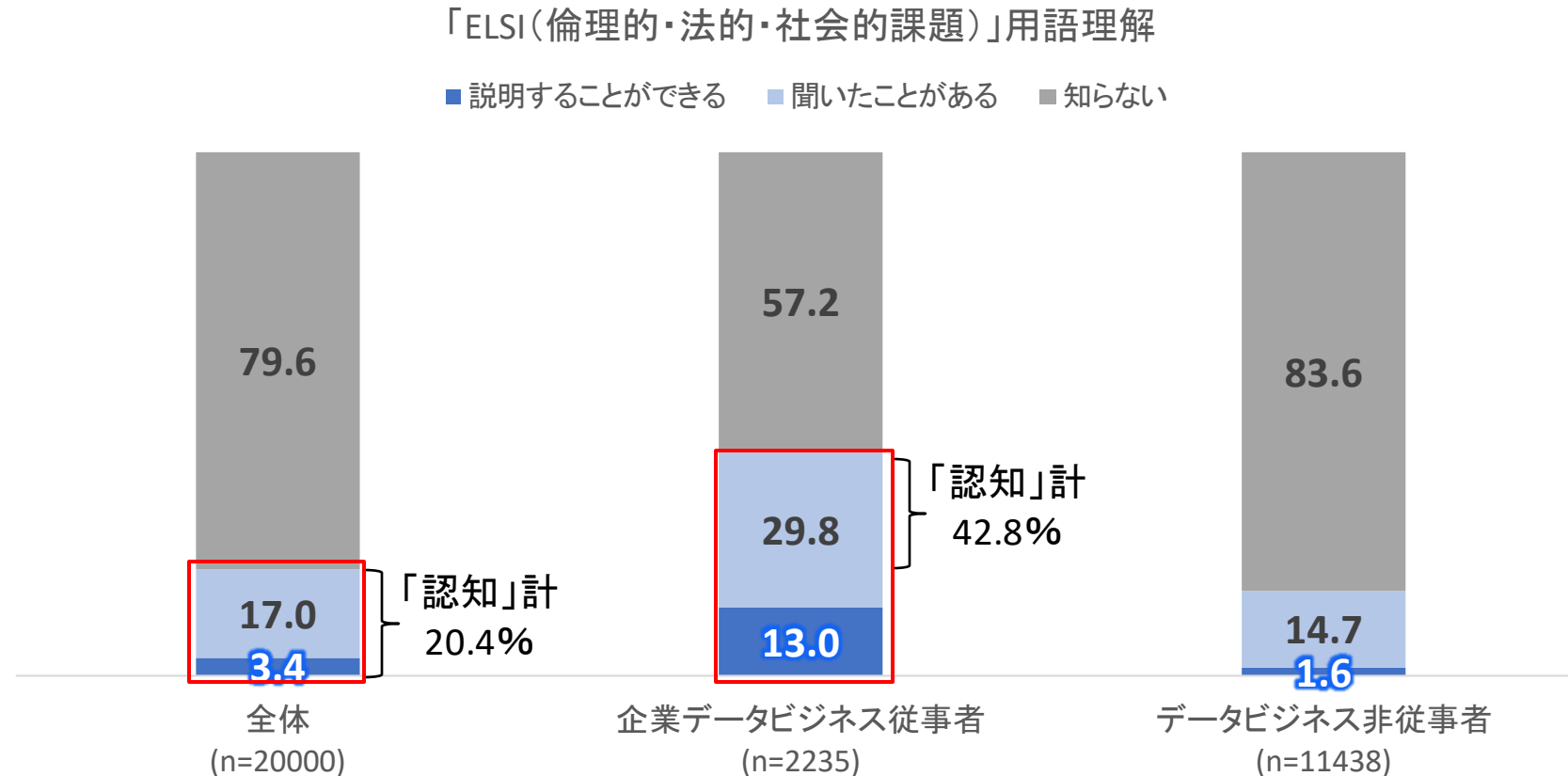
2021年12月20日(月)～24日(金)／2023年12月20日(水)～ 27日(水)

調査実施機関

電通マクロミルインサイト

「ELSI(倫理的・法的・社会的課題)」の認知(2021)

生活者全体では20%の認知度。
「企業データビジネス従事者」では43%の認知度となっており、全体とのギャップが大きい*。

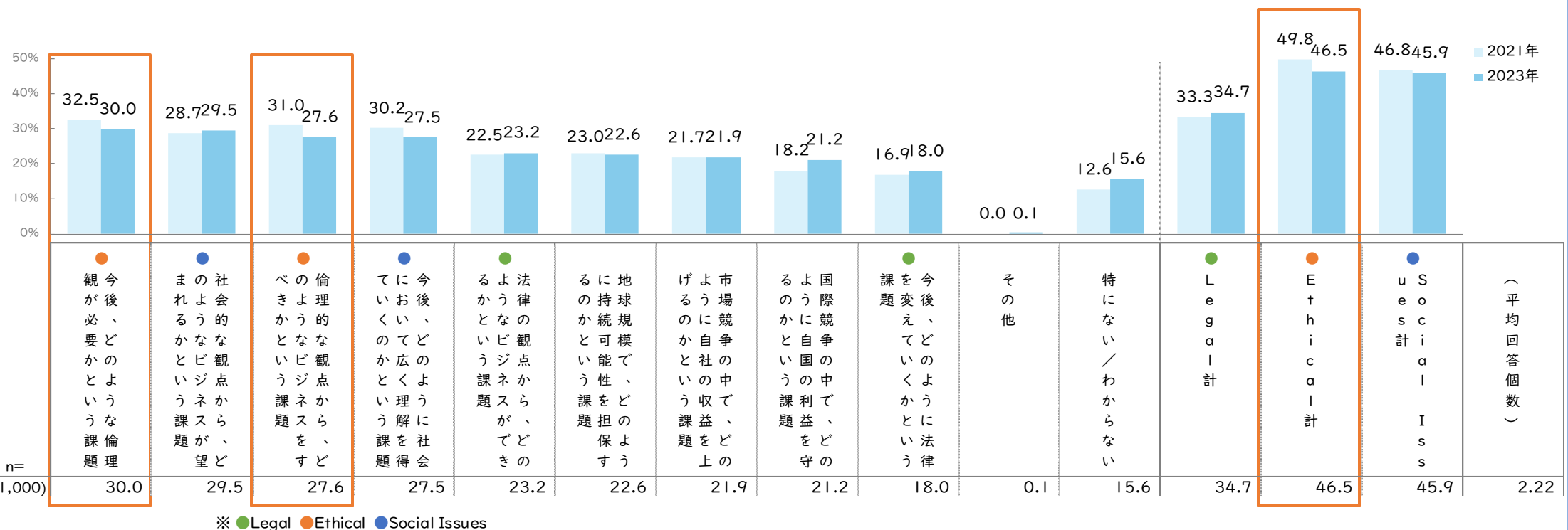


*...なお「ELSI」は、今回調査した30の用語のうち、もっとも「企業データビジネス従事者」と「全体」での認知度ギャップが大きい(22.4)用語である。

データビジネス従事者の課題感(将来)(21/23)

DB従事者にとって、今後の課題として想起される項目では、「E>S>L」の優先順位となった。
 半数がE課題を想起し、とくに「倫理(観)」が重視されていることがわかる。
 逆にL課題については、現時点で取り組んでいる自認があるためか、やや低い傾向。

「企業データビジネス従事者」(n=1000)



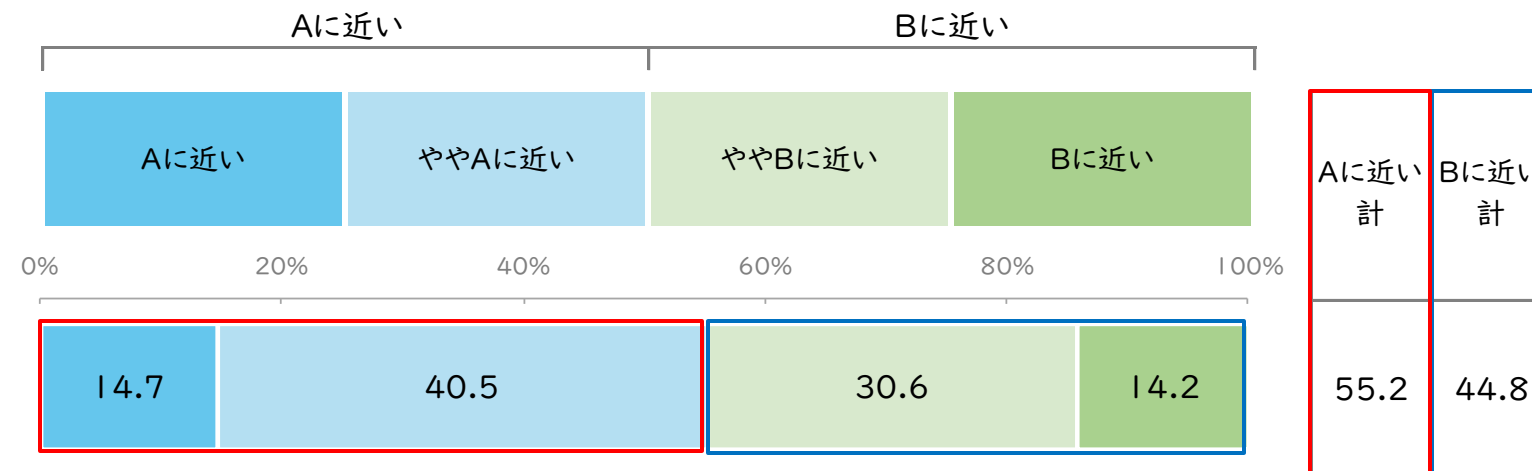
真っ二つに割れている「倫理」理解(1/2)

重視されている「倫理(観)」だが、その理解については、じつは一致していない。
「目標(やった方がよいこと)」⇔「義務(やらねばならないこと)」の軸で問うと、ほぼ半数ずつの分布となる*1。
この点は、欧米におけるスタンダードな理解(B)と齟齬がある*2。

「あなたは「倫理」というワードについて、次のAとBのどちらに近いと思われますか。」

A:「倫理」とは「できる限り目指すもの」だと思う
B:「倫理」とは「絶対に守るべきもの」だと思う

「企業データビジネス従事者」(n=1000)



*1...なお、本調査においては若年層ほどAを支持する傾向にある。

*2...企業が「倫理原則」等を発信する際にはBの用法が基本となるが、近年ではAに近い理解も指摘されている。
参照: Wagner(2018) "Ethics As An Escape From Regulation. From "Ethics-Washing" To Ethics-Shopping?"

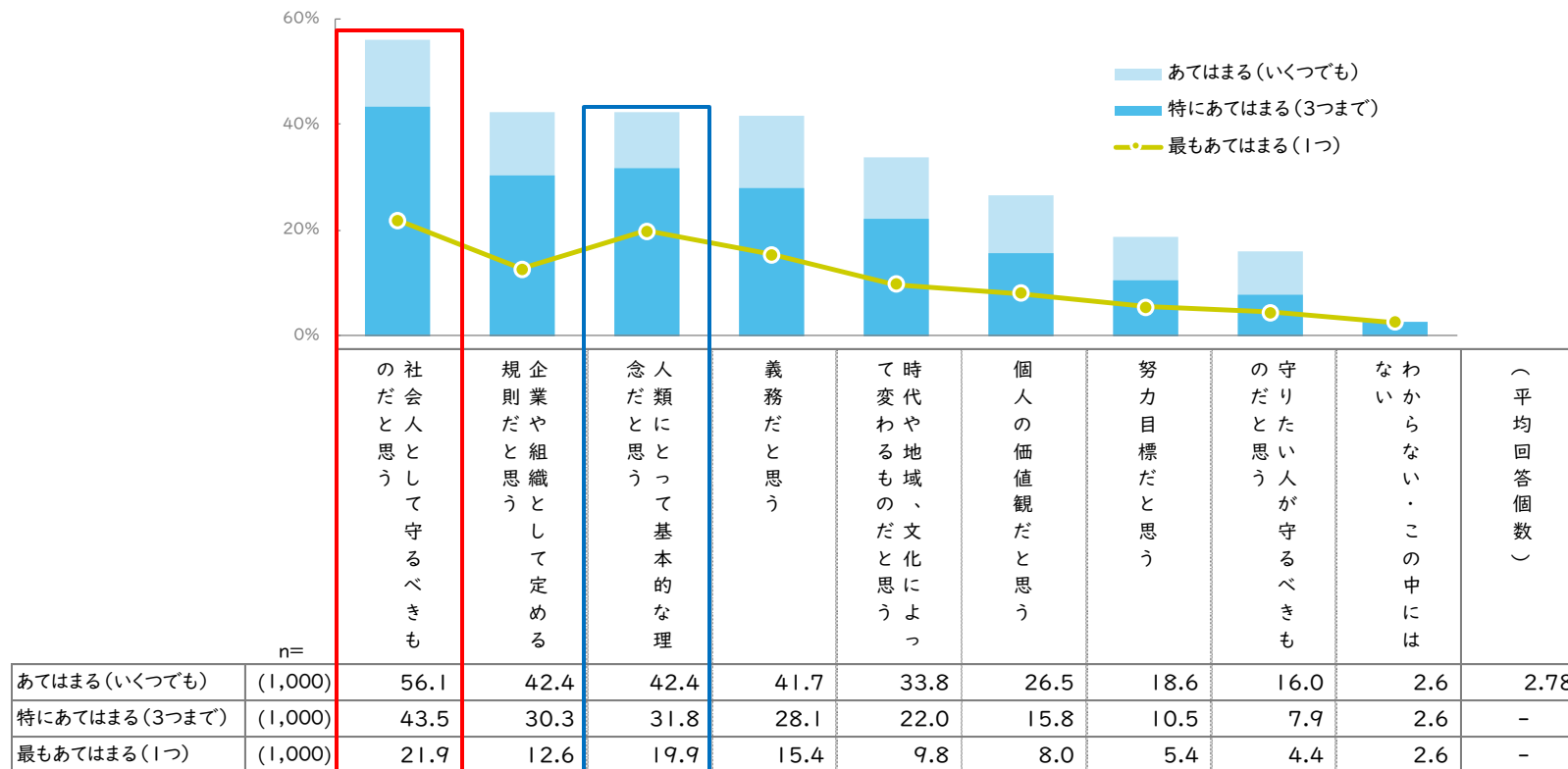
注) 数値は回収数を100とした%

真っ二つに割れている「倫理」理解(2/2)

「倫理」理解のバリエーションは幅広く、「社会人としての規範」などが想起されやすく、それらに次いで「普遍的な理念」とする欧米的な「倫理」理解が登場する。
E課題に向かうためにも、「倫理(観)」の内実について言語化し、企業内外・社会に発信する必要がある。

「データをあつかうあなたの業務において、「倫理」というワードはどのようなものだと思いますか。以下からあてはまるものをお選びください。」

「企業データビジネス従事者」(n=1000)



Q.

“What is **Ethics**!?”

『倫理的』って（結局）どういうこと？

A.

“**Ethical** Issues
are distinguished from

Legal and **Social** Issues.”

『法的』 『社会的』 課題と区別すればわかる(かも)

Legal Issues (法的課題)

施行された法

都度アップデートされる
(技術の後追いになる)

(解釈の余地はあるが)
明示的で、対応しやすい

Ethical Issues (倫理的課題)

普遍的な理念
(正義・公平性・尊厳)

原則として 変化しない

必ずしも明示的でなく、
熟慮が必要

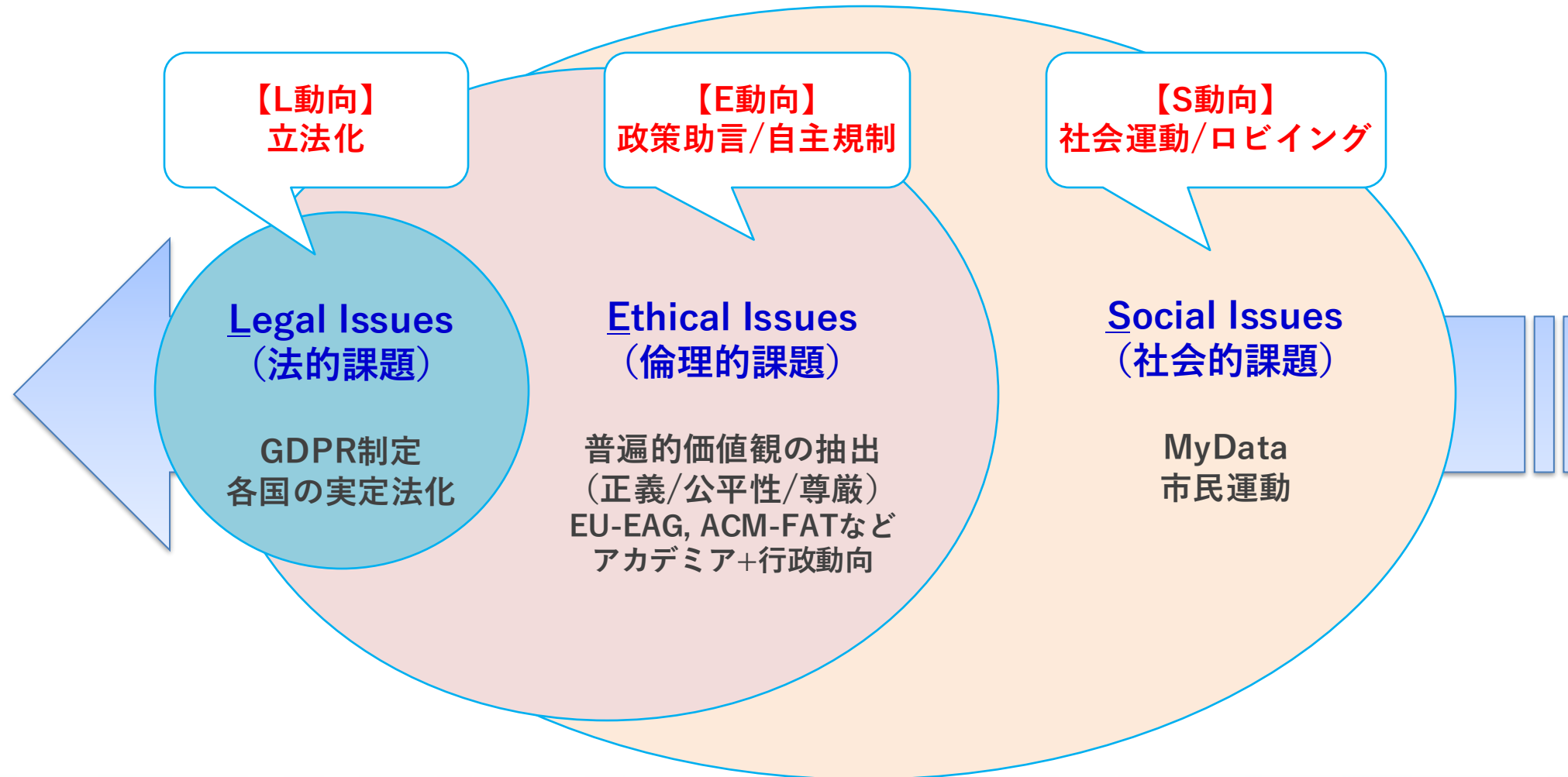
Social Issues (社会的課題)

社会的話題 (世論)

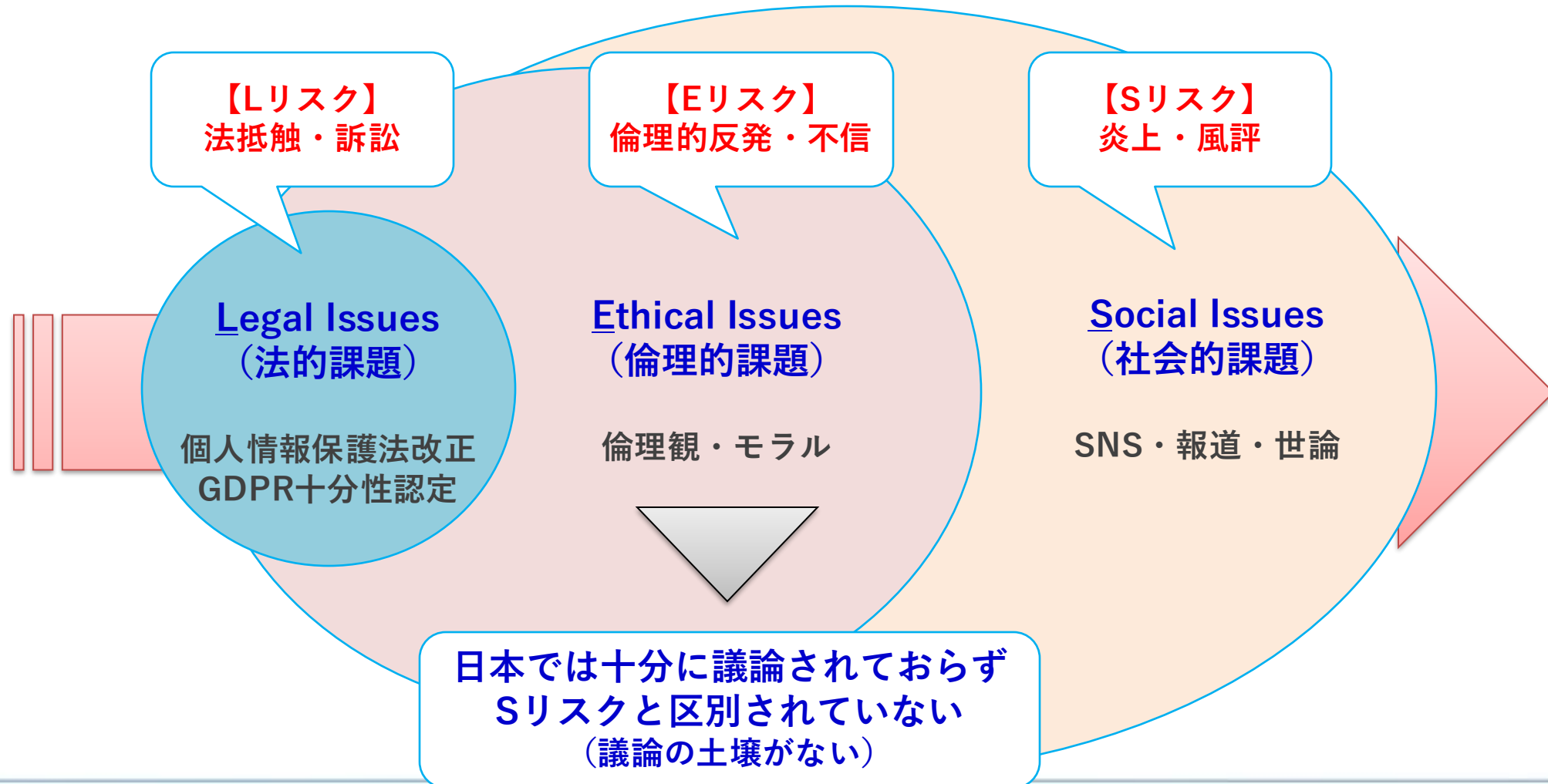
変化しやすい

<SNS炎上>など新たな
形でリスクが顕在化

議論のベースに、市民社会の議論（S動向）、さらに専門家の見解（E動向）があり，そこから立法（L動向）がなされる順序.



日本の場合、ビジネス主導(リスク対応)が特徴。整備が後追いになる「L（法的）リスク」対応だけでは不十分。より視野を広く持つ必要がある。



ELSIを考える際には、単に「法律を守る」ということではなく、法律の「理念」、その背後にある思想を理解しなければならない。

自律性の尊重	人の尊重
誰の利益か	恩恵
公正公平な取り扱い	正義

〔参考〕

「ベルмонт・レポート」（1979）

医学系研究における被験者保護のための倫理原則とガイドラインがまとめられたもの。多くの倫理規範に応用されている。

THE BELMONT REPORT

Ethical Principles and Guidelines for the Protection of Human Subjects of Research

The *Belmont Report* was written by the National Commission for the Protection of Human Subjects of Biomedical and Behavioral Research. The Commission, created as a result of the National Research Act of 1974, was charged with identifying the basic ethical principles that should underlie the conduct of biomedical and behavioral research involving human subjects and developing guidelines to assure that such research is conducted in accordance with those principles. Informed by monthly

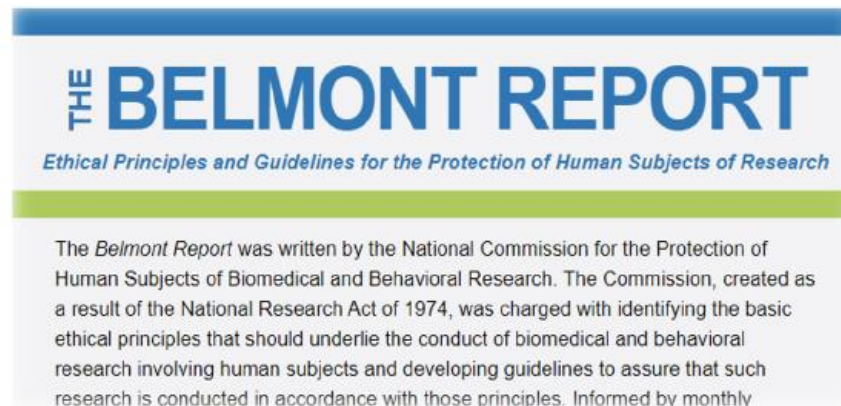
ELSIを考える際には、単に「法律を守る」ということではなく、法律の「理念」、その背後にある思想を理解しなければならない。

自律性の尊重	人の尊重	▶ 人格の尊厳・自由
誰の利益か	恩恵	▶ ステークホルダー
公正公平な取り扱い	正義	▶ フェアネス/普遍性

〔参考〕

「ベルモント・レポート」 (1979)

医学系研究における被験者保護のための倫理原則とガイドラインがまとめられたもの。多くの倫理規範に応用されている。



新興技術について、健全な議論を進めるための、 $S \rightarrow E \rightarrow L$ の順序関係。

■事例：都知事選ポスター ジャック

■「S」レベルの<モヤモヤ>

「なにこれ」
「子供に見せられない」
「おかしい」
etc.

■「E」語彙での整理

「**公共的**ツールを私物化している」
(ステークホルダーの無視)

「選挙の**公正さ**に付け込んでいる」
(ルールへのハック)

etc.

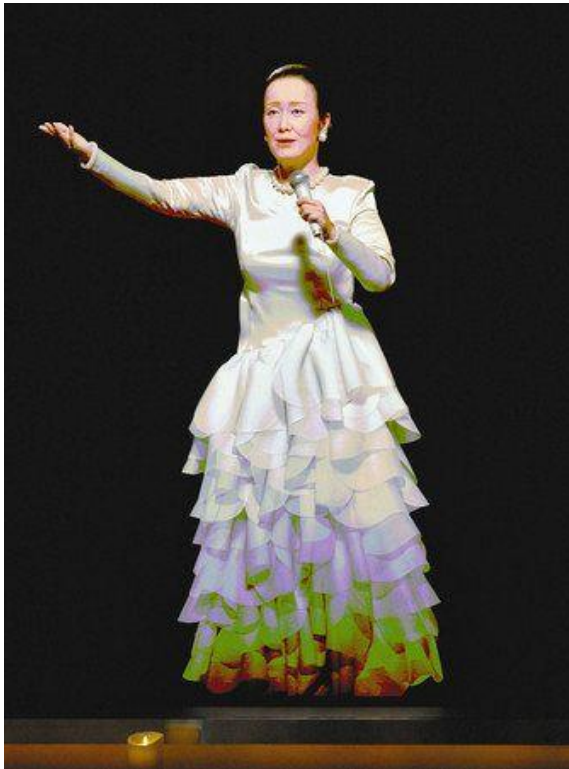
■法整備 (L) への議論

・選挙広報のアップデート
(供託金等「有名」対価設定の是正)
(「寄付」抜け穴の再検討)



新興技術について、健全な議論を進めるための、S→E→Lの順序関係。

■事例：AI美空ひばり
(2019年NHK紅白歌合戦)



■「S」レベルの<モヤモヤ>

「気持ち悪い」
「冒涇」
「技術の濫用」
「なんかやだけど、別にいいんじゃない？」
etc.



■「E」語彙での整理

「故人の人格の尊厳を毀損する」
(端的に「嘘」をつかせている)

「故人の自律性を損ねている」
(故人には訂正不可能である)

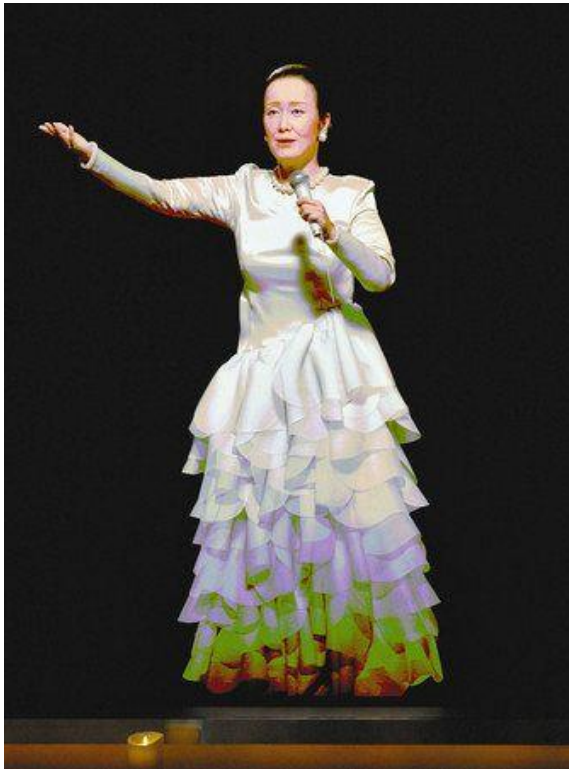
「故人の資産を不当に搾取している」
(肖像権保持者が許可すればよいのか?)
etc.



■法整備 (L) への議論
・死後のプライバシー
(財産権? 人格権?)

事業者目線でのチェックポイントのキーワードは「ヒヤリハット」。
事故を未然に防ぐためインフラ事業者が重視するように、皆で防げるか。

■事例：AI美空ひばり
(2019年NHK紅白歌合戦)



■「S」レベルの<モヤモヤ>

作り手サイドの「ヒヤリハット」
(とくに現場ではあったはず…)

「冒険」
「技術の濫用」
「なんかやだけど、別にいいんじゃない？」
「これ大丈夫かな？」
「炎上しない？」

「気持ち悪がられるかも…」
「ちょっとやりすぎじゃない？」

AI美空ひばり
あなたはどのように思いますか

■「E」語彙での整理

「ヒヤリハット」を上申する
ためのボキャブラリーはあったか？
それが発せる環境だったか？

「故人の肖像権を侵害している」
「うまく表現できないし…」
「ブレーキかけて煙たがられるのも…」
「故人の資産を不当に搾取している」
(肖像権保持者が許可すればよいのか?)
etc.

共通で参照する「理念」と
絡められれば言えたかも？

「公共放送として××の観点から…」

企業の意思判断として、L対応（法令遵守）は当然。
対応が困難なS（炎上）対応にこそ、「E」が重要な役割を果たす。

・ Soup for all
離乳食提供開始の反響を受けまして

4月25日に開始した「離乳食後期の全店無料提供」の取り組みに対して、さまざまなお声をいただきました。

お声をいただけたおかげで改めてお伝えしたのは、私たちの存在意義について思いを巡らせ、考えを練っていたからです。

信じて、私たちがお伝えしている思いが正しいと信じてくれる方が、目を覚まし、心を開いてくれることが、一番大切なことだと感じています。

私たち「スープストックトーキョー」の企業理念は、「世の中の体温をあげる」です。
スープという共通の価値を認めてくれる方だけではない、心の体温をあげたい。
そんな願いを一つのスープに込めた事業を行っています。

その理念がある、さまざまな現場で働くことへの熱意があったり、自覚が生まれたりする。それが、私たちの力になる。それが「Soup for all」という私たちの取り組みを推進しています。

■事例：スープストックトーキョー 「炎上」事例 (2023年4月)

← スープストックトーキョー... **Follow**
4,567 Tweets

スープストック... @Sou... · Apr 18 ...

🔊 小さなお客さまへ
4月25日(火)より、Soup Stock Tokyo全店で離乳食・キッズセットの提供をはじめます。

離乳食(後期)の無料提供を全店で行うことになりました。もう少し大きくなったお子さまにはキッズセットのご用意も。ぜひ家族一緒にスープの時間をお楽しみください。👇

soup-stock-tokyo.com/story/sst.baby...



710 17.7K 28.8K

■「S」レベルの<炎上>

Soup Stock Tokyo 離乳食 全店舗無料に否定的な声

- ひとり客を大事にしないってメッセージだね
- 女ひとりでふらっと入りやすいのが魅力なのに
- 店舗や時間帯を限定してほしい
- 子ども苦手なのでしばらく行くのをやめる
- 離乳食食べさせてるとテーブルも減茶苦茶汚れるよ
- 静かで清潔な空間が好きだった...

Twitterか

TBS NEWS DIG

“女の吉野家”論争も

スープストックトーキョー
「離乳食 無料」SNS大荒れ



■「E」観点からの応答責任の履行

“私たちは、お客様を年齢や性別、お子さま連れかどうかで区別をし、**ある特定のお客様だけを優遇する**ような考えはありません。

私たちは、**私たちのスープやサービスに価値を見出していただけるとすべての方々**の体温をあげていきたいと心から願っています。”

■企業理念

**Soup
Stock
TOKYO**

世の中の
体温を
あげる

ELSIに配慮したデータビジネスを展開する際、おもに作成されるのは以下の三点。
各々役割が異なるが、国内の現状ではAを制定せず、Bの改正（新個人情報保護法対応）が遅れているデータビジネス事業者が多数おり、批判を浴びがちである。

A. 倫理指針

- 誰向けか？：社会全体（PR）
- 対象は？：データを用いたビジネス全般
- 趣旨：データを利活用して、新たなビジネスを進める企業として、基本的な価値観・ビジョンを表明し、今後の指針とする。

「正しいことば」を適切に用い、自分たちの奉
じる価値・規範を明示化する必要がある

B. プライバシーポリシー

- 誰向けか？：サービスの全利用者
- 対象は？：個人情報を扱うビジネス全般
- 趣旨：具体的なデータの取り扱いに関する情報を開示し、とりわけ個人情報の取り扱いについて具体的なデータ流通に即して、説明をおこなう。
- 2021年の個人情報保護法改正を受けて各社が改訂中。データ利活用が新たに加わる度に、改訂と周知が必要になる。

個人情報取り扱いについてはPPに準拠

C. （各種）ユーザー規約

- 誰向けか？：個別の（会員）サービス利用者
- 対象は？：当該サービスでの取得データ利活用
- 趣旨：ユーザーとの（民事上の）「契約」に相当する規約。
- とりわけアプリやログイン機能を伴うサービスにおいて、取得データを利活用したビジネスを検討する際には、当該サービスでの規約の「通知と同意」が不可欠で、UX/UIも重要に。

普遍的な価値観・ビジョンの提示を謳う「A.倫理指針」、
全般的な「B.プライバシーポリシー」、サービス毎の「C.利用の規約」を制定する例。
英語圏を中心に、BないしCについてはビジュアルライズ等、ユーザーフレンドリーな表現も重要に。

A.倫理指針

例) マイクロソフト
「AIのための倫理指針」
「倫理規定」

普遍的な価値・ビジョンに
ついての表明

Microsoft's Ethical Principles for AI



FAIRNESS

Treat all stakeholders equitably and prevent understandable stereotypes and biases.



TRANSPARENCY

Create systems and outputs that are understandable to relevant stakeholders.



RELIABILITY

Build systems to perform safely even in the worst-case scenario.



PRIVACY & SECURITY

Protect data from misuse and unintentional access to ensure privacy rights.



INCLUSION

Empower everyone, regardless of ability, and engage people by providing channels for feedback.



ACCOUNTABILITY

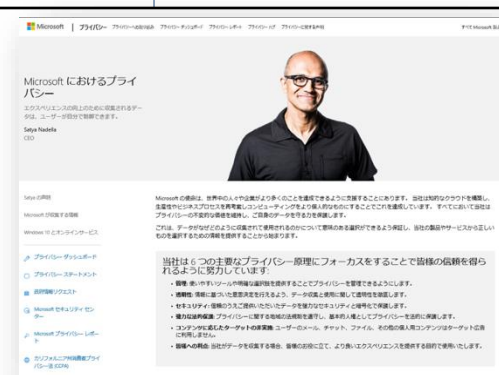
Take responsibility for how systems operate and their impact on society.

例（マイクロソフト）：
公正（フェアネス）、透明性、信頼性、プ
ライバシーとセキュリティ、包摂性、説明責任

B.プライバシーポリシー

例) マイクロソフト
「Microsoft におけるプ
ライバシー」

個人情報・位置情報など
取得データ種ごとに
ビジュアルを駆使した
わかりやすい形でポリ
シーを提示している



<https://privacy.microsoft.com/ja-jp/privacy>

個人情報取り扱いについてはPPに準拠

C.（各種）ユーザー規約

例) マイクロソフト
「Skype利用規約」

MS参加のサービス毎に設定
される利用規約
(ほかOffice365,edgeなどサ
ービス毎に作成)

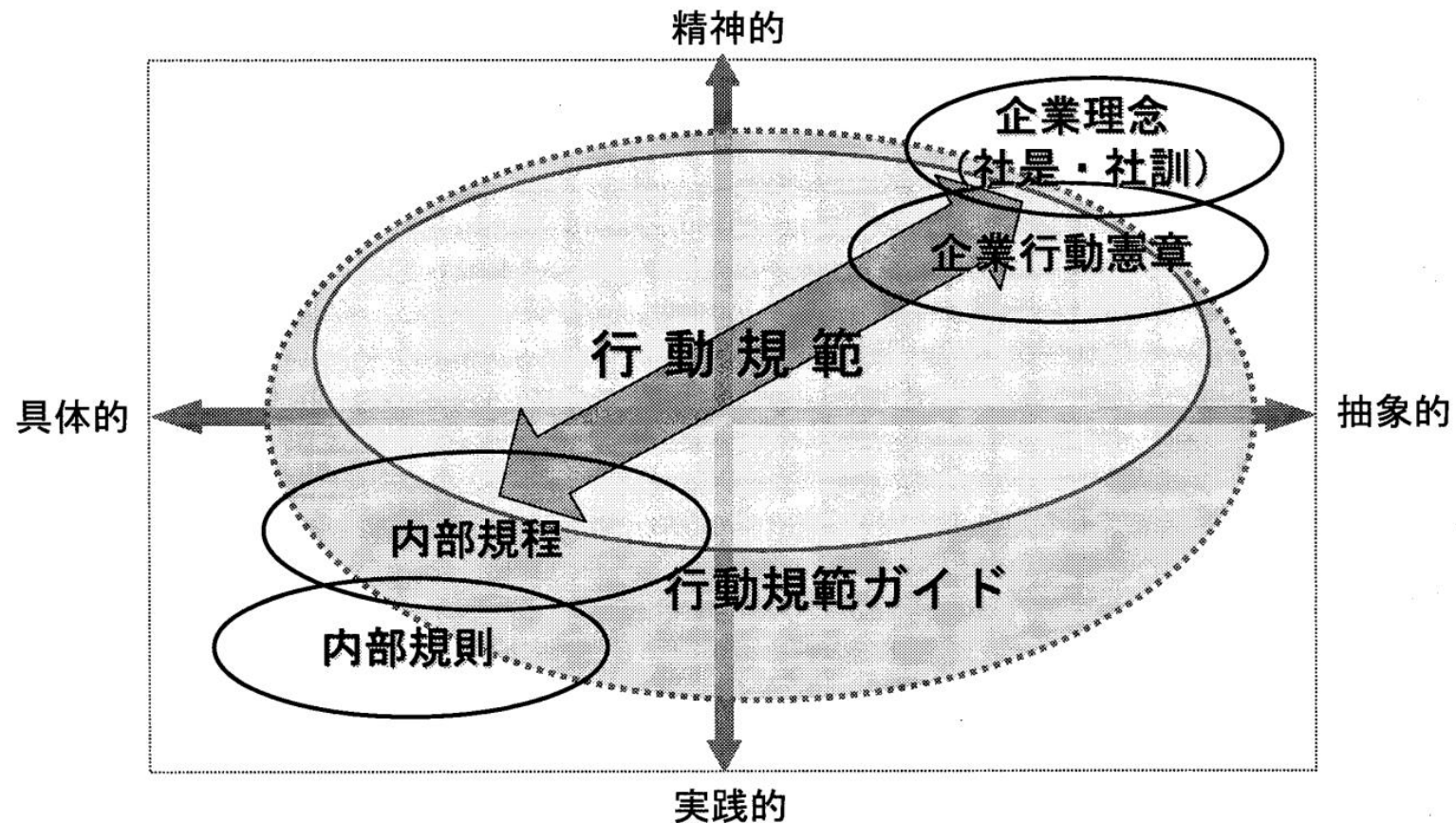
Skype Manager/Skype Connect 利用規約

目次:

1. お客様と Skype の間の合意
2. 規約への同意
3. 規約の概要
4. ライセンス
5. ソフトウェア、製品、Skype Web サービスの使用
6. お客様の権利
7. 所有権
8. 料金
9. お支払い
10. 通知方針
11. お客様と Skype の関係の終了
12. 保証の除外、責任の制限、免責
13. サービスの Web サイトと製品とサービス
14. 追加条項
15. 本規約の修正と更新

<https://www.skype.com/ja/legal/tou-connect/>

現在の（北米テック企業がリードする）ELSI対応やE産業化において、日本企業はたしかに立ち遅れているが、それは「ことばづかい」レベルの問題も大きい。旧来から存在する理念・規範を表現する在り方をアップデートしていくことが重要。



久保田潤一郎(2008)「企業倫理の制度化における行動規範と浸透活動の要件」、『日本経営倫理学会誌』第15号

「ELSI」対応プロジェクトと「<公正>を乗り越なす」

日本語においては、「倫理」を表現するためのボキャブラリーである「正しいことば」がうまく扱いつらい環境がある。

企業文化に働きかけ、課題感を共有しやすい「ELSI」プロジェクトとより一般向けに理論的背景を説明する「<公正>を乗り越なす」プロジェクトという位置づけ。



国立大学法人 大阪大学
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1
TEL: 06-6877-5111 内
www.osaka-u.ac.jp

Press Release

2019年9月2日

分野: 学際領域 キーワード: データ駆動型ビジネス、倫理的・法的・社会的課題(ELSI)、ルール整備、Society 5.0

大阪大学と電通、「行動データ駆動型ビジネスの ELSI 領域」
におけるルール整備に向け産学共創プロジェクトを開始

概要

国立大学法人大阪大学（本部：大阪府吹田市、総長：西尾 章治郎）と株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、近年急速に進むサイバー空間上の各種データを活用するビジネスをめぐる生じる新たな倫理的・法的・社会的課題（Ethical, Legal and Social Issues; 以下 ELSI）領域での課題解決に向け、ルール整備等について検討する、産学共創プロジェクトを開始します。

今後データビジネスが健全に成長するためには、産業界におけるデータ流通に関して、市民社会の理解を得るための適切なルール整備が不可欠であるとの課題感から、産学共創によって公共性を担保された形で整備を進めることを目指します。

研究の背景

大阪大学は、2016 年にビッグデータの利活用促進を目指してデータビリティフロンティア機構を設置し、2018 年に文部科学省から国内唯一の「Society 5.0 実現化研究拠点支援事業」として採択されるなど、技術シーズの研究開発のみならず、その市民社会における課題や展望についても取り組んでいる本領域におけるトップランクの研究機関です。ビジネスでのデータ利活用が加速する中、産業界におけるデータ流通の実際やニーズ、課題感を把握し、新たな研究テーマを得ることを目指します。

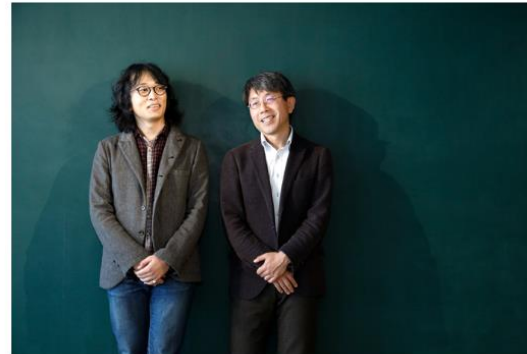
加 通 報

2020/02/07

ELSI対応なくして、データビジネスなし?! 話題のELSIとは

あらゆるビジネスがデータ駆動型になっていく中、今までは考えられなかったさまざまな課題がビジネスシーンで生じつつある。そのような状況下で、注目を集めているのが「ELSI（エルシー）」というワードだ。ビジネスを進めていく上で、あらゆるリスクとどう向き合い、いかにそれをチャンスに転換していくべきなのか。

リスク研究を専門とされる大阪大の岸本充生教授に話を聞いた。聞き手は、同教授と共に産学共創の「データビジネスELSI研究会」を立ち上げた電通のソリューション・デザイン局 主任研究員の朱喜哲氏。



ELSI解説記事 <https://dentsu-ho.com/articles/7123>



『<公正>を乗り越なす』（太郎次郎社）

<https://www.editus.jp/topics/rensai/fairness>

ご清聴ありがとうございました。

朱 喜哲

juheechul1985@gmail.com

